

## 夏の図書館を詠む

<p>甲子園 繰る手休めて 白い雲 多聞</p>	<p>風鈴の 響き心に 書を聞く 藤緑風</p>	<p>緑側の 頁に響くは 蟬の声 駒子</p>	<p>夏空に 君と逢ふため 図書館へ もへ</p>	<p>汗ばむ夜 月の光で 文字を追う ゆつきー</p>
<p>卯の花に 窓辺とられて 白さしよか 白向雅</p>	<p>炎登に 涼風を送るは ページめくり 心胤</p>	<p>乱読を やめてくれぬか 雲母虫(きららむし) 多作一景</p>	<p>真夏の夜 ホラーを読むと 寒くなり カレン</p>	<p>海風が ページをめくる 夢の午後 遊亀</p>
<p>夕立ちの 湿気をさける 読み工夫 政五郎</p>	<p>夏空の ベンチでめくる 1ページ スコッティ</p>		<p>夏休み 本をお供に 空港へ さくらじぞう</p>	<p>涼をよぶ 乙女の姿 館にあり 淳駒</p>
<p>昼休み 怪談話して クールビズ 欽作</p>	<p>読みながら アイスクリーム 食べる午後 よし子</p>	<p>盆休み 遅れた本を 思い出す 垣津旗</p>	<p>ミンミンと 蟬の声 アカペラで 多誤作</p>	<p>雷鳴も 届かぬ世界 座右本 細麻呂</p>

## 頓珍漢・素人俳壇

これらの俳句は本学園の学生・留学生・教職員の方々から投句いただいたものです。